



デジタル化によって「こんなことができるんだ!」という  
発見を求めて福井商工会議所職員がデジタル技術の活用  
を進める企業や施設を訪問し、レポートしていきます!  
その悩み、デジタル技術で解決できるかも!?

福井商工会議所

# こちら デジタル活用 ビジネス支援センター



(有)詩季  
代表取締役 佐藤 宏隆 さん  
(当所 IT 専門相談員)

都合が悪い」ため見送っていたものが、「ちょっと気になるから」「オンラインだし聞いてみよう」と心理的ハードルを大きく下げました。

逆に、オンラインだと臨場感がなく、場の空気を読んで発言することのハードルが上がったように思います。「リモートは営業の熱意が伝わらない」と心配されるように、物事を決定する場面には向いてないかもしれないかもしれません。ただ、会社説明会に来てもらう前のファーストコンタクトとして活用するなど、こちらからの情報をまず一通り伝えたい時にはもってこいで、相手と接点を持つ意味では大いに活用すべきです(もちろんコミュニケーションが発生した方が素晴らしいです)。

オンライン会議システムの活用によって顧客ターゲット層が広がる可能性もありますので、リアルとオンラインそれぞれの利点を活かし、使い分けるようにしましょう。

デジタル化をすることが  
ゴールではない  
ゴールではない

コロナ禍によってデジタル化の進展に拍車がかかり、今後は「電子帳

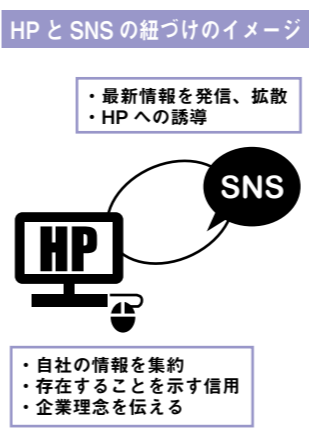
昨今のコロナ禍により、販促や集客、営業活動等でデジタルツールを活用する企業も多く見受けられます。ITコーディネータの佐藤氏のもとには「ホームページを低コストで作りたい」「リモートでの打合せに対応してほしい」と顧客から求められている」などといった相談が寄せられています。今回はホームページとオンライン会議システムの活用方法についてアドバイスをいただきました。

## ホームページを 自分で「育てる」意識を

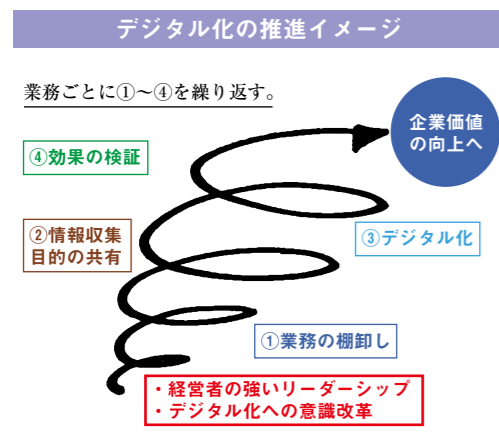
かつて、ホームページ(HP)は会社の看板の役割を担い、どちらかと言えばインターネット上で見つけてもらう受け身のものでした。しかし、AI(人工知能)技術が台頭する現在、検索結果の上位に表示されることは容易ではなく、HP単体ではターゲット層に見つけてもらうことも困難です。インターネットは世界中の人の目に触れる可能性を広げますが、自分たちの商品・サービスを売ってほしい顧客に訴求できなければ効果的とは言えません。HPへの導線を作る必要があるでしょう。

よく無料でHPを作れないか尋ねられることがあります。たしかにレイアウトやデザインがテンプレートのものでよければ無料で作ることもできますが、有料版と比べ、独自のドメインが取得できなかったり、編集・更新できる箇所が限定的だったり制約が付きまします。無料版が決して悪いというわけではありませんが、それだけで販促や集客に繋げるには不十分だと思えます。

## 特にこれから新規でHPを作る場合はどうしても後発となってしまいますので「何を」「誰に」売りたいのかを整理し、伝えたいことを明確にする必要があります。作って終わりではなく、日々、情報を更新し続け「自分でHPを育てていく」という地道な努力によってHPへのアクセスが増えていくのです。リアルタイムで情報発信できる「LINE」



よく無料でHPを作れないか尋ねられることがあります。たしかにレイアウトやデザインがテンプレートのものでよければ無料で作ることもできますが、有料版と比べ、独自のドメインが取得できなかったり、編集・更新できる箇所が限定的だったり制約が付きまします。無料版が決して悪いというわけではありませんが、それだけで販促や集客に繋げるには不十分だと思えます。



簿保存法」や「電子インボイス制度」が適用されるなど、否応なしに適応していかなければなりません。

しかし、デジタルツールはあくまで手段です。HPは自社の情報をアーカイブし、自身の価値観等を伝えるものでしかありません。ツール導入を後押しする補助金が国や行政から出ていますが、補助金を利用することが目的となってしまう方もいます。デジタル化を失敗させないためには「デジタル化×経営」の観点で捉えなければなりません。我々IT専門家は、業務の棚卸しから一緒に整理し、目的達成のためのご相談に対応させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

番外編  
当所HPで発見  
身近なデジタル化

福井商工会議所デジタル活用ビジネス支援センターの取組みについて紹介します。

当所では、事業所の「なぜデジタル化を進めた方がいいの?」「何か始めたらいい?」といった疑問に応えるべく、各社のデジタル化推進の参考にしていただくためのコンテンツ

県内の「デジタル化事例集」や「イチオシITツール」などの情報はデジタル活用ビジネス支援センター HP (右記) からご覧ください。

や「Instagram」等のような即効性のあるSNSとリンクさせるのも導線を作る手段の一つです。

## オンライン会議で広がる 新たなビジネスチャンス

オンライン会議システムは、瞬間に普及しました。最近、私のもとには企業だけでなく、町内会や学会等からもオンラインイベントの機材セッティング・運営方法の相談が増えてきました。



佐藤氏は様々な企業・団体のオンラインイベントをサポートしています。

本支店間の内部打合せのほか、リモートでセミナーや講演会を受講することに、違和感がなくなりつつあります。オンラインだと地理的・時間的制約から解放され、移動の負担もなくなるため、これまで「時間の

コンテンツをホームページ上で紹介しています。

例えば、県内企業のデジタル化への取組みをまとめた「デジタル化事例集」では、製造現場や職場環境、顧客対応といった様々な場面における課題や、デジタル化着手の経緯、そしてその結果・成果等を紹介しています。業種で絞り込み検索もできるので、自社と似たような境遇や経営課題を持った企業の事例を探してみると、参考になるのではないのでしょうか。

その他、デジタル化推進に役立つ情報や直近に開催されるセミナー案内、当所会員企業のデジタルツール・サービスを紹介する「イチオシITツール」などのコンテンツを掲載しています。

なお、企業のデジタル化を後押しするイチオシITツールはHPから掲載申請ができますので、皆様からの情報提供もお待ちしております。

お問合せ先  
福井商工会議所まちづくり・産業振興課  
0776(33)8252